

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社きかんし



准允志願者5名一人ひとりに所信を聞く

2012年度

教区総会報告

4

神奈川

京都

各教区総会を終えて

総会議員選出し諸重要課題待つ教団総会へ

戒規・免職反対関連決議3件可決



神奈川教区 第128回
神奈川教区総会が、6月30日、清水ヶ丘教会を会場に開催された。教団総会予備投票時には正議員236名中201名と、出席率が高かった。冒頭、組織前に北村慈郎推薦議員の議員資格について、議員とすることは教区規則に違反しているのではないかとの意見が述べられ、説明が求められた。岩崎隆議長は、教団の正規の手続きに従い教師正議員として扱うことはしなかった、一方で、事柄は教区で議論を積み重ねて来たことであり、また裁判に係争中でもあるので推薦議員とした、と答えた。

選挙時にも趣旨の質疑がなされた。被選挙権はあるのかとの間に、岩崎議長は、ないと答えた。補教師の准允執行に関する件では、5名の志願者が一人ひとりの所信を述べ、岩崎議長が、通例のごとく、「教団教師検定試験は不当とまでは言えない」と認める承認を得た上で、一人ひとりの個別には執行を承認し、その後直ちに准允式が執行された。

第二種教会「センター北教会」設立について、小泉健主任担任教師から設立に到る経緯が説明され、祝福の拍手のもとに、承認された。岡本知之教団問安使の挨拶では、議長挨拶の追加説明として、神奈川教区から2,700万円の東日本大震災復興救援のための献金に寄せられたことへの感謝が述べられた。

教団総会に聖餐のあり方について慎重かつ十分に議論する場を教団内に設置する「第38回(合同後23回)教団総会に聖餐のあり方について慎重かつ十分に議論する場を教団内に設置する」という案が提出された。議長は形勢が整っているから審議すべきで、内容を審議してはならないとの主旨の提案理由が述べられた。多数決で決する前に十分な議論が必要だとの提案理由が述べられた。議長は形勢が整っているから審議すべきで、内容を審議してはならないとの主旨の提案理由が述べられた。

尚、日本ホーリネス教団神奈川教区上中総会副議長、在日大韓基督教教会横浜教会李明忠牧師及び東北教区被災者支援センター専従者佐藤真史氏から、十分時間をとって、丁寧な来賓挨拶・説明を受けた。

【教職】岩崎隆(六ツ川)、藤掛順一(横浜指路)、古谷正仁(時田)、森研四郎(鎌倉)、宇野信二郎(横浜大岡)、寺田信一(横須賀小川町)、平良愛香(三・一、須田拓橋本、森田裕明(横浜本牧、宗野鏡子(田園江田)、高橋博(新丸子)、池迫直人(藤沢大庭、尾毛佳靖子(戸塚)

【信徒】望月克仁(鎌倉雪ノ下)、都筑正頭(横須賀新庄本町教会)が長い祈りの備えを経て合同し、新しく新庄教会が誕生した。特に新しい新庄教会の誕生を東北教区総会が可決したことは、今後の日本全

体の伝道を展開していく上で示唆していることは深く、大きい。教区全体が合同した新教会を理解し支えたことが大切なポイントではないかと思う。

各教区総会を終えて

教団総幹事 内藤留幸

4月末の北海教区、四国教区を皮切りに始まった2012年度の各教区総会は6月30日の神奈川教区をもって終了した。いま、17教区の総会をふりかえって、まず導きたもうた主に感謝すると共に、気づかされた点をいくつか記しておきたいと思う。

各教区総会において第38回教団総会議員が選出された。けれども沖縄教区だけは今回も未選出。それなりの言い分があるのであろうが、教団に属する教区であるかぎり、教規に従って選出してほしかった。

望を与えることを祈りながら救援の努力を継続していききたい。

各教区の教勢の減退は歯止めが掛かっている。それに伴い財政面でも縮小傾向は否めない。厳しい時代ではあるが『伝道に熱くなる教団』との石橋秀雄教団総会議長の言葉とおり、すべての人に真の救いを与える主キリストの福音を力強く語り続けねばならないと思う。

教団総会の開会礼拝で聖餐式を執行了した教区があった。出席者一同が日本基督教団信仰告白を唱和し、一

望を与えることを祈りながら救援の努力を継続していききたい。

【教職】井上勇一(洛南)、入治彦(京都)、横田明典(近江金田)、望月修治(同志社)、韓守信(長岡京)、川上信(八日市)、谷村徳幸(水口)、山田真理(上鳥羽)、大澤宣(紫野)



教団問安使を受け入れず

教団新報取材もかなわず

京都教区総会が、5月3日、京都丸太町教会を会場に開催された。教団問安使の石橋秀雄教団総会議長は、当日会場教会を訪れたものの、会場の礼拝堂に入ることが許されず「応接室」に案内され、総会にも礼拝にも与ることが出来なかった。

【信徒】原田潔(大津東)、川崎どうの木、造田弘司(水口)、押本年真(常置委員会推薦)、中井正子(常置委員会推薦)、菅恒敏(常置委員会推薦、西井義(近江金田)

教団総会議員選挙結果

(新報編集部報)

共に祈り、支えよう！

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

記

目標額 10億円(国内のみ)

期間 2011.7.1～2015.3.31

振替番号 00110-6-639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

2012年7月

教団救援対策本部長 石橋秀雄

在日大韓基督教会との宣教協力委員会 宣教課題と宣教協力を主題に

6月4～5日、ニューヨークエルシティ湯河原にて、第46回在日大韓基督教会と日本基督教団との宣教協力委員会が、「両教会の宣教課題と宣教協力―日本における伝道を巡って―」のテーマのもとに開催された。

在日大韓基督教会からは、金武士総会長、趙重来副総会長、朴太元副書記、洪性完総幹事・歴史共同研究委員、崔米信宣教委員長、金健歴史共同研究委員、曹泳石幹事、許伯基幹事、そして、2日目の発題者である金鐘賢牧師(浪速教会)が出席した。

6月4～5日、ニューヨークエルシティ湯河原にて、第46回在日大韓基督教会と日本基督教団との宣教協力委員会が、「両教会の宣教課題と宣教協力―日本における伝道を巡って―」のテーマのもとに開催された。

在日大韓基督教会からは、金武士総会長、趙重来副総会長、朴太元副書記、洪性完総幹事・歴史共同研究委員、崔米信宣教委員長、金健歴史共同研究委員、曹泳石幹事、許伯基幹事、そして、2日目の発題者である金鐘賢牧師(浪速教会)が出席した。



2 日目発題者の金鐘賢氏(在日大韓基督教会浪速教会牧師)



腕組みして考え込む場面も多々

究委員、張田眞宣教委員長・歴史共同研究委員、佐藤飛文歴史共同研究委員、加藤誠幹事、大三島義孝幹事、高田輝樹職員、宮本恩恵職員、そして、1日目の発題者である近藤勝彦東京神学大学長が出席した。

1日目は、石橋議長の説教による開会礼拝の後、近藤氏が「現代日本における伝道をめぐって」と題し、現代日本において、教会・牧師・信徒には「預言者の使徒的な精神」の探求が求められており、ヒューマニズムではなくキリストの贖罪論的な御業についての信仰と復活のキリストの臨在の信仰が求められていること、伝道協力においては信仰告白の一致が重要であること等、両教会の宣教協

力の共通基盤と目的について語られた。

その後、両教会における東日本大震災支援活動の報告がなされた。

2日目は、金鐘賢氏が「野宿生活者(ホームレス)と共に歩んだ浪速教会の宣教活動」と題し、最初は金ヶ崎で韓国人労働者伝道を始め、1997年から、日本社会で捨てられた人々に仕える牧会の働きとして「愛の家」の活動を開始したことを、以来、さまざまな困難を経験しながらも、野宿生

復旧再建支援いよいよ具体的に 教団救援対策本部第12回会議

5月31日、教団会議室にて、教団救援対策本部第12回会議を開催した。

最初に5月30日現在での国内募金総額が3億6,99万316円、海外からの献金は2億1,044万705円と報告された。

続いて、救援対策室会議報告として、仙台エマオのボランティア登録者数等の活動報告、各部署の会計報告、および海外教会向け募金趣意書の報告がなされた。

6月11日から12日、教団会議室にて37総会期第6回教育委員会が開催された。今回は両日の間、11日の晩に宣教師との懇談会も開催された。

委員会ではまず教会学校支援セットを送付した教会・伝道所への訪問報告がなされた。天白伝道所、くまの伝道所、北本教会、茅ヶ崎堤伝道所、津久見教会、東広島教会への訪問がな

室(仮称)設置の検討を進めてほしいとの要望が出されていること、そして、関東教会からは、5月に韓国基督教長老会からの訪問団と一緒に被災教会を訪問したことが報告された。

審議事項においては、第4回こひつじキャンプ(7月29日～8月4日。大阪にての実施支援を決定したほか、ハートフル遠野UICJの今後の活動については、今年度末までを一応の目安とすることなどを協議した。

続いて、教会堂・牧師館再建支援に関して関東教会から出された、桐生東部教会支援希望額1,517万5,100円、益子教会(同182万円)、水戸自由ヶ丘教会同187万5,500円)への支援要請について、「被災教会支援金配分要綱」に従い、支援希望額の50%を支援することを決定した。

その他、海外教会への支援依頼について協議したほか、田中弘志委員の後任に嶋田順好教師を充てることを常任常議員会に提案すること、北海教会における震災関係報告集に委員を派遣すること、これまで陪席

教会学校応援セット送付先を訪問 第6回教育委員会

6月11日から12日、教団会議室にて37総会期第6回教育委員会が開催された。今回は両日の間、11日の晩に宣教師との懇談会も開催された。

委員会ではまず教会学校支援セットを送付した教会・伝道所への訪問報告がなされた。天白伝道所、くまの伝道所、北本教会、茅ヶ崎堤伝道所、津久見教会、東広島教会への訪問がな

なお2012年度のクリスス献金の最終報告がなされた。第5回委員会での決定に従って、奥羽、東北、関東の3つの被災教会に子どもたちを覚えて用いて貰うためにそれぞれ200万円を、また残りを震災対策本部への献金とした。

2012年ユースミッションの詳細も検討した。8月18日から24日の日程で台湾からの青年を迎えることとなっている。今回は関西センターを会場に開催予定。その広告を出すことを確認した。

先述した宣教師との懇談会について、これは教育委

東京でのプログラムを経て帰国する一週間の計画を立てている。さらに詳細な準備、検討課題などを話していくことが確認された。

ユースミッション主事認定試験は2013年3月8日(金)に大阪クリスチャンセンターを会場に開催予定。その広告を出すことを確認した。

先述した宣教師との懇談会について、これは教育委



2012 年ユースミッションの詳細を検討する

荒野の声

▼日帰り温泉に出掛けたい。しかし、駅員から貰った。特急券を求め、乗客がない分だけラッキー。車口に近いくち符売りの初老の駅員が電車に乗り込み、話しかけて来る。▼何か手強い。でもあったかと訝つていふ。駅員が言う。その席だと、せつかくの景色が見えませんか。空席があります。空席があまりから移って下さ。い。勿論直ぐに席を替えた。そうして、箱根を堪能することが出来た。▼出だしてで機嫌になつた。しかし、その日の短い旅を満喫出来た。バスに乗り換えて着いた日帰りの温泉宿は、広告とは大違いで、みずばらしいほどに小さく、近くには、お屋をいたぐ店もない。はるばるやって来て、屋食はなんと自販機のあるパン。▼常だったら、不

満と後悔で夫婦喧嘩になつていたかも知れない。しかし、駅員から貰った。特急券を求め、乗客がない分だけラッキー。車口に近いくち符売りの初老の駅員が電車に乗り込み、話しかけて来る。▼何か手強い。でもあったかと訝つていふ。駅員が言う。その席だと、せつかくの景色が見えませんか。空席があります。空席があまりから移って下さ。い。勿論直ぐに席を替えた。そうして、箱根を堪能することが出来た。▼出だしてで機嫌になつた。しかし、その日の短い旅を満喫出来た。バスに乗り換えて着いた日帰りの温泉宿は、広告とは大違いで、みずばらしいほどに小さく、近くには、お屋をいたぐ店もない。はるばるやって来て、屋食はなんと自販機のあるパン。▼常だったら、不

第12回 部落解放全国会議 報告

わたしの中の差別・被差別、く来て、見て、知って、解放へく

「第12回部落解放全国会議（わたしの中の差別・被差別、く来て、見て、知って、解放へく）」を2012年6月11日（月）く13日（水）に日本基督教団東梅田教会を主会場として参加者200名で開催する事ができました。神様の導きを感謝します。



東梅田教会を会場として、参加者 200 名

「差別は現場で起きている」ことを感じる全国会議となったか

全国会議実行委員長・大阪教区総会議長 向井希夫

教団部落解放センター開設30周年の年に、沖縄から北海道まで全国から200名近くの仲間が解放センターのある大阪教区に集い、全国会議を開催できたこと、主催者としては感謝の気持ちでいっぱいです。今回の準備を進めるにあ

常議員会からの修正意見を受け入れ 部落解放センター規約変更へ

第6回部落解放センター運営委員会

第12回部落解放全国会議に引き続き、6月13日（水）14日（木）、東梅田教会において第6回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は陪席者をあわせ延べ27名。

開会礼拝のあと、部落解放センター運営委員の役割「全国水平社宣言」の朗読にはじまった今委員会では、報告や議事の他に東谷誠運営委員長による解放理論のための内部学習会が行われた。全国会議での基調報告をさらに踏み込んだ内容で、センターは部落差別問題を無くすために教団に対してもの申すことが出来る立場にあること、こ

そという時には動く必要があるとの力強いメッセージが語られた。今委員会でも充実した報告がなされたが、全国会議については報告と共に振り返りが行われた。常任運営委員会、みなおし委員会については、第38総会期第1回運営委員会までを任期とする事が了承された。2011年度の活動献金、会計決算、会計監査報告がそれぞれ承認された。昨年度の活動献金は目標額近くまで届けられ、感謝の念に堪えない。また、今井数一記念解放講座規定の変更が承認された。解放劇の準備について報告があり、



（多田玲一報）

なに行われています。たとえば、フィールドワークで訪れた水平社博物館に対して「在日特権を許さない市民の会」（在特会）会員が差別発言を行い、それをインターネットに流す事件が起きました。また、大阪市内で訪れたいくつかの現場では、人権や平和を守るという働きが橋下徹大阪市長によって押しつぶされようとしています。わたしたちが注意しなければならぬのは、「在特会」の、目をそらし耳を塞ぎたくなるような露骨な差別言動がインターネットで垂れ流されていること、さらにそれを支持する多くの人々がいること、また橋下市長の支持率が今なお70パーセントを超えているという現実です。その背後には、社会全体を覆う閉塞感、不安感があると考えられま

あることを覚えるとき、わたしたちの心の中や教会の中にも、誰かを排除することによって自分たちの中にある閉塞感や不安感を覆い隠そうとする「闇」がないか、検証しなければなりません。そのためにも、現場に来て、見て、知る」ことが大切だと、今回強く感じました。その意味では、記念講演でレジュメに書かれていながら大阪の部落差別の現状、具体的な解放運動について十分に触れられなかったことは残念でした。にもかかわらず、講師が強調した「方針は、現実から与えられる」は、わたしたちの今後の取り組みにおいて、大切にしていかなければならない視点です。わたしたちは、2年に1回、この全国会議で現場に学び、差別と闘う仲間と出会い、思いも新たに、それぞれの現場へと遣わされていきます。この営みは、常に「わたしの中の差別・被差別」を謙虚に見つめ、問いながら続けられるものです。「世の光」である主イエスに導かれながら、差別の「闇」に打ち勝つ歩みを続けてまいりましょう。

部落解放センター活動委員長 一木千鶴子
第12回部落解放全国会議が大阪で開催された。前回の東京に続き、大都会での全国会議であったが、原発や基地を地方に押しつけている構造そのものが差別で

あることを覚えるとき、わたしたちの心の中や教会の中にも、誰かを排除することによって自分たちの中にある閉塞感や不安感を覆い隠そうとする「闇」がないか、検証しなければなりません。そのためにも、現場に来て、見て、知る」ことが大切だと、今回強く感じました。その意味では、記念講演でレジュメに書かれていながら大阪の部落差別の現状、具体的な解放運動について十分に触れられなかったことは残念でした。にもかかわらず、講師が強調した「方針は、現実から与えられる」は、わたしたちの今後の取り組みにおいて、大切にしていかなければならない視点です。わたしたちは、2年に1回、この全国会議で現場に学び、差別と闘う仲間と出会い、思いも新たに、それぞれの現場へと遣わされていきます。この営みは、常に「わたしの中の差別・被差別」を謙虚に見つめ、問いながら続けられるものです。「世の光」である主イエスに導かれながら、差別の「闇」に打ち勝つ歩みを続けてまいりましょう。

あることを覚えるとき、わたしたちの心の中や教会の中にも、誰かを排除することによって自分たちの中にある閉塞感や不安感を覆い隠そうとする「闇」がないか、検証しなければなりません。そのためにも、現場に来て、見て、知る」ことが大切だと、今回強く感じました。その意味では、記念講演でレジュメに書かれていながら大阪の部落差別の現状、具体的な解放運動について十分に触れられなかったことは残念でした。にもかかわらず、講師が強調した「方針は、現実から与えられる」は、わたしたちの今後の取り組みにおいて、大切にしていかなければならない視点です。わたしたちは、2年に1回、この全国会議で現場に学び、差別と闘う仲間と出会い、思いも新たに、それぞれの現場へと遣わされていきます。この営みは、常に「わたしの中の差別・被差別」を謙虚に見つめ、問いながら続けられるものです。「世の光」である主イエスに導かれながら、差別の「闇」に打ち勝つ歩みを続けてまいりましょう。

事務局報

教師異動

武庫之荘 就主今泉信宏
錦林 就主明石義信
福島伊達 就主宮崎新
小高 就主望月修
矢板 就主山下正人
池袋西 就主大宮克己
下田 就主大宮克己
稲取 就主大宮克己
四谷新生 就主小林護
千葉南 就主小林護
福岡警固 就主江口充
常磐 就主西八條敬洪
勿来 就主明石義信
聖光学院高校 就主武公子

須賀川 辞主今野善郎
山形学院高校 辞主三ツ本武仁
鎌倉雪ノ下 辞主担落合建仁
金城学院大学 辞主教金承哲
津島日光川燈台 辞主青野清
「 辞主担尹成奎
「 辞主担尹成奎
「 辞主担阿部倫太郎
金沢 辞主担阿部倫太郎
香里 辞主吉本幸嗣
「 辞主担吉本紀子
「 就主三ツ本武仁
岸和田 辞主市川忠彦
「 就主吉本幸嗣
「 就主担吉本紀子
東和歌山 辞主代清藤淳
「 就主阿部倫太郎
東梅田 就主担一森文彰
吐田郷 辞主担神谷宣
茨木 辞主担山恭平
「 辞主代佐野英二
「 就主米山恭平
「 辞主主桑満欣
南遠 辞主主桑満欣
「 辞主主桑満欣
「 就主主桑満欣
大町 辞主主関英晴
「 就主担柳谷知之
山崎 辞主主目下勝
松山東雲中学・高校 辞主教安藤昭良
信天 辞主主塚本一正
「 辞主担塚本佳奈
「 就主主金井俊宏
関西学院大学神学部 辞主神加藤善治
「 就主神土井健司
「 辞主担齋藤開
西宮 就主担西川専一
「 就主担渡辺圭一郎
「 辞主兼担工藤尚子
「 辞主代野本真也
「 就主野本真也

消息

杉本常雄氏（無任所教師）

12年4月29日逝去、62歳。
大阪府に生まれる。87年同志社大学神学部を卒業、同年阿倍野教会に赴任、11年まで淀川教会を牧会した。遺族は妻・杉本美由紀さん（無任所教師）。

須賀川 辞主今野善郎
山形学院高校 辞主三ツ本武仁
鎌倉雪ノ下 辞主担落合建仁
金城学院大学 辞主教金承哲
津島日光川燈台 辞主青野清
「 辞主担尹成奎
「 辞主担尹成奎
「 辞主担阿部倫太郎
金沢 辞主担阿部倫太郎
香里 辞主吉本幸嗣
「 辞主担吉本紀子
「 就主三ツ本武仁
岸和田 辞主市川忠彦
「 就主吉本幸嗣
「 就主担吉本紀子
東和歌山 辞主代清藤淳
「 就主阿部倫太郎
東梅田 就主担一森文彰
吐田郷 辞主担神谷宣
茨木 辞主担山恭平
「 辞主代佐野英二
「 就主米山恭平
「 辞主主桑満欣
南遠 辞主主桑満欣
「 辞主主桑満欣
「 就主主桑満欣
大町 辞主主関英晴
「 就主担柳谷知之
山崎 辞主主目下勝
松山東雲中学・高校 辞主教安藤昭良
信天 辞主主塚本一正
「 辞主担塚本佳奈
「 就主主金井俊宏
関西学院大学神学部 辞主神加藤善治
「 就主神土井健司
「 辞主担齋藤開
西宮 就主担西川専一
「 就主担渡辺圭一郎
「 辞主兼担工藤尚子
「 辞主代野本真也
「 就主野本真也

